

研 究 発 表

講演・口演・シンポジウム・示説

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西暦)
婦 人 検 診 部				
シンポジウム：進行再発甲状腺癌の治療	吉田 明（座長）	第29回日本内分泌学外科学会総会	神 戸	2017. 5
「婦人科病理への思い、若い世代へのメッセージ」子宮頸部と体部のprecursor lesionsについて	藏本博行	第59回日本婦人科病理学会 病理症例検討会 session III (日婦腫瘍誌、2017；35 (3) : 522-523)	熊 本	2017. 7
日本甲状腺外科学会50周年記念シンポジウム：外科の立場から	吉田 明	第50回日本甲状腺外科学会	福 島	2017.10
平成27年度神奈川県域マンモグラフィ検診の現状と検討	松宮彰彦、佐藤大樹、殿内祐美、 榎戸克年、吉田 明、有田英二、 遠藤権三郎、福田 護	第27回乳癌検診学会総会	徳 島	2017.11
マンモグラフィ単独検診における炎症性乳癌の鑑別を目指した検討	見本喜久子、寺西加倫、落合彩耶奈、 三好恭子、中山博貴、龍 美紗、 吉田 明	第27回乳癌検診学会総会	徳 島	2017.11
子宮内膜細胞診による月経周期診断の重要性	藏本博行	青森県臨床細胞学会	青 森	2018. 3
循 環 器 病 予 防 医 療 部				
新たな血圧心拍測定法と臨床応用	朽久保修	第49回横浜循環器セミナー	横 浜	2017. 1
医師が必要とした生活習慣・生体情報データとウェアラブルセンサ開発—健康長寿社会を目指して—	朽久保修	サイエンス&テクノロジー講演会	東 京	2017. 6
日々の生活習慣管理に有効な健康腕時計と減塩モニタの活用	山末耕太郎、朽久保修	第40回日本高血圧学会	松 山	2017.10
が ん 予 防 医 療 部				
オストメイトの健康管理	三浦 猛	横浜市オストミー協会 新春の集い		2018. 1
これからのがんの治療戦略「予防策、早期発見、早期治療」	三浦 猛	日立ICTビジネスサービス 健康講演会		2018. 1
臨 床 検 査 部				
VLCAD欠損症スクリーニングに対する新指標の有用性	小川雄大、木下洋子、山上祐次、 栗原 博、窪田 満（国立成育医療センター）、 菊池信行、安達昌功、平原史樹、古井民一郎（神奈川県医師会 先天性代謝異常対策委員会）	第44回日本マススクリーニング学会	秋 田	2017. 8
認知症領域における技師の本分	江成典子	第66回神奈川県医学検査学会	横須賀	2017.11

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西暦)
新生児マススクリーニングにおける脂肪酸代謝異常症の検査指標の改訂および対象疾患の追加に関する検討	小川雄大、木下洋子、山上祐次、菊池信行（横浜市立みなと赤十字病院）	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2
高速凝固促進分離剤入り真空採血管の導入検討について	江成典子、鈴木千穂、三橋範子、高橋優紀美、山上祐次、菊池美也子	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2
放 射 線 技 術 部				
「被写体要件と撮影技術の相関」	見本真一	第56回日本消化器がん検診学会（総会）	つくば	2017. 6
「装置管理しませんか1」	和田昌訓	第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 学術集会	横 浜	2017. 8
「装置管理しませんか2」	鍋島将一	第77回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 学術集会	横 浜	2017. 8
「よい画像を得るためのポイント」	川上哲弘	第77回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 学術集会	横 浜	2017. 8
「胃がんを知り、胃がんを撮り、胃がんを読む」	見本真一	平成29年度神奈川県診療放射線技術講習会	横 浜	2017.10
「MMG単独検診における炎症性乳癌の鑑別を目指した検討」	見本喜久子	第27回日本乳癌検診学会学術総会	徳 島	2017.11
「不確実所見に関する撮影技術の要因解析」	福山智之	放射線技師会 創立70周年記念大会祝賀会	横 浜	2018. 2
「今までの中にこそ、これからがある」	見本真一	第30回日本消化器画像診断情報研究会	千 葉	2018. 2
「安全・精度・効率を兼ね備えた胃X線検査」	植村博次	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2
デジタルマンモグラフィ検診車の画質検討	三好恭子	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2
「神奈川県内の検診機関における胃X線装置の線量比較と線量低減対策の検討」	鍋島将一	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2
「医療安全管理」	見本真一	日本対がん協会・結核予防会平成29年度診療放射線技師研修会	東 京	2018. 3
「胃がん検診の精度管理、撮影法、リスク管理」	見本真一	H29年度予防医学事業中央会 医師協議会	群 馬	2018. 3
看 護 部				
受診者情報取得時のプライバシー保護への取り組み	秋本理絵、佐藤京子、中島のり子、鐵 智子、黒須佳代子、市原亜弓、外山幸子	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2
健 康 創 造 室				
特定保健指導品質管理における目標と評価項目の再構築	飯塚晶子	第52回予防医学技術研究会議	長 崎	2018. 2

著書・論文・報告書

標 題	発 表 者	誌 名	年 月 (西暦)
婦 人 検 診 部			
日本における術後性副甲状腺機能低下症の頻度調査	紫芝良喜、今井常夫、神森 真、栗原英夫、鳥 正行、野口仁志、宮内 昭、吉田 明、吉村 弘	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌34,51-56	2017. 3
Oncogenic histone methyltransferase EZH2: A novel prognostic marker with therapeutic potential in endometrial cancer.	大木慎也、曾根献文、織田克利、浜本隆二、池村雅子、前田大地、竹内 真、谷川道洋、森 繭代、長崎一憲、宮坂亜希、櫻山智子、池田悠至、有本貴英、藏本博行、平池 修、川名 敬、深山正久、大須賀穰、藤井知行	Oncotarget, 8; 40402-40411	2017. 6
Chapter 5. Utility of colposcopy: Comparison of colposcopic abnormality with histology and cytology, with colposcopic findings focusing on the lesion in cervical canal.	Kuramoto H, Jobo T	Pp 67-82 in Colposcopy and cervical pathology (Ed. Rajkumar R), Print ISBN 978-953-51-3637-1, Online ISBN 978-953-51-3538-8. Intech, Croatia.	2017.10
子宮頸部と体部のprecursor lesions（前駆病変）について	藏本博行	予防医学 59号 P.83-87	2017
コルポ診の有用性：コルポ異常所見と組織診ならびに細胞診との比較、頸管内病変に焦点を当てたコルポ所見とともに	藏本博行、上坊敏子	予防医学 59号 P.115-123	2017
循 環 器 病 予 防 医 療 部			
「かながわME-BYO見える化センター」とその展望	朽久保修	予防医学 59号	
生体データ活用の最前線～スマートセンシングによる生体情報計測とその応用～	朽久保修	共著 サイエンス&テクノロジー社	2017. 6
「効く！食事療法大全 大満足レシピベスト400」(Part 3：血糖値を下げる強力食材まるごと活用法)	朽久保修	共著 主婦の友インフォス社	2017. 9
が ん 予 防 医 療 部			
前立腺がん患者におけるアミノインデックスがんリスクスクリーニング(AICS(前立腺))の術前後変化の検討	蓼沼知之、片山佳代子、軸屋良介、橋爪章仁、安井将人、水野伸彦、梅本 晋、村岡研太郎、河合正紀、三浦 猛、山本浩史、池田温子、菊池信矢、四方菜穂子、岸田 健	人間ドック 33:35-42.2018	2018
臨 床 検 査 部			
神奈川県予防医学協会の学校腎臓病検診への取り組み	坂牧真盛、小泉真弓、渡邊由美、栗原美千代、中井幸子、山上祐次	予防医学 59号 P.97-107	2017.12
神奈川県予防医学協会の学校腎臓病検診への取り組み	坂牧真盛	じん 39号 P.11-19	2018. 1
環 境 科 学 部			
尿中総三塩化物のクロスチェック集計結果報告	労働衛生検査精度向上研究会 渡辺雅春	労働衛生管理 (公社) 全国労働衛生団体 連合季刊誌	2017. 4

標 題	発 表 者	誌 名	年 月 (西暦)
平成27,28年度における尿中馬尿酸、尿中メチル馬尿酸及び尿中マンデル酸のクロスチェック報告について	労働衛生検査精度向上研究会 川澄八重子（中央労働災害防止協会） 杉山浩貴（株式会社保健科学研究所） 会員（渡辺雅春）	労働衛生管理 （公社）全国労働衛生団体 連合季刊誌	2017. 9
平成27,28年度における尿中2,5-ヘキサンジオンのクロスチェック報告	労働衛生検査精度向上研究会 木戸誠二郎、町田聡、高橋章（株式会社 ビー・エム・エル） 圓藤陽子（関西労災病院） 会員（渡辺雅春）	労働衛生管理 （公社）全国労働衛生団体 連合季刊誌	2018. 1